

文芸きくち



万句の里俳句会 12月句会

樋音に目覚し床の小夜時雨
庭先でこと足る暮し冬菜島
青空の引き立ててゐる紅葉かな
熱燗の果てには天下国家まで
花石路に手を差し伸べてゐる夕日

中路 郁子
川口 二子
守井理恵子
岩木 敬治
光本とよいち

せせらぎ俳句会 12月例会

一人居も何かと忙し年の暮
投函の音もて仕事納めとす
無造作に組まれし行事開戦日
鍋の中アートの如し冬野菜
掃き納め終えて短い経を上げ

寺本 和子
五丁 義昭
藤本 邦治
森 正子
藤本アツ子

旭志文芸教室俳句の会 12月詠草

新米のおにぎり美味し米どころ
鍋の中目にしむ葱も甘くなり
風に揺るコスモス一枝小さき手に
ウオーキング足裏にやさし草もみじ
そこここに物忘れたる小春かな

芹川 蓉子
藤本けい子
中尾ヨシコ
芹川のり子
水谷 ミネ

肥後狂句水笑会 12月例会

空き家ばかり のら猫たちがパトロール
大相撲 日本力士はどけ居るな
年越し蕎麦 年末に何故食うとだろ
年越し蕎麦 インスタントですませとる
大相撲 土俵の外が面白か

宮上 美由
柏原 乗仏
御手洗三代
井手水 光
山隈 好茶

七城短歌会 12月詠草

孫の家新築なりし部屋にきて木の香匂へる初冬の午後
打ち下ろす振り子に齒向かう黒大豆弾けはじめて乱れ跳び散る
来しかたの暮らしそれぞれ身に蔵め歌う仲間の声はずみゆく
選り分ける大豆は我に身をゆだね今日の日もそろそろ終わる
心当てに探す補聴器田の溝の色に似通よい五日を待ちいし

緒方 寛子
緒方 正俊
山田 博
高木 精
佐々 重弘

「里」短歌会 12月詠草

百年間「菊の城」を育みし酒蔵今は湯舟となりて
はじけたる柘榴の赤きを窓越しにいつとき眺める入所の叔母と
幼日に弟背負い遊び居た重く辛かりし夕のあぜ道
枯れ葉揺れ蜘蛛の糸揺れ園児らは声あげ指さす風の吹く中
阿蘇登山論語塾の子らとバス旅行 好日好天われら楽しく

林 淑子
前原 ゆみ
桑野 睦子
緒方 悦子
梶原美智代

溪流短歌会 1月詠草

昨日は伊豆、今宵は草津明日は何処入浴剤は旅する気分
朱の色四方に放ちて昇りゆく今朝の太陽ひと日始まる
銀杏城近づく見れば今われにやぐら石垣昔を語る
地下鉄の満員の中女子高生に席譲られて温き冬の日
朝一番九時十七分の団地発一人暮らしの人らバス待つ

山田 弘子
岩根 博恵
堤 よしみ
田中 遙子
山城 雅子

菊池短歌会 1月詠草

山峡の暮色を行けば冬の虹ふと吾が齢思ひておどろく
濁り酒ひそかに醸しぬし叔父の浄き無類の思想を恋へり
鴨川の向こうの岸のおれんじの灯りの中なる人の語らい
着古しの白い胴着に黒袴今朝の気合いの帯を締めたり
吾もまた心身の数多の傷を癒すべく老人ホームに日々過ごし居り

中川 愛子
怒留湯健蓉
安藤 則子
川口すみ子
古賀 勝士

入会希望など詳しくは、
それぞれの句会や歌会
にお尋ねください。

万句の里俳句会 井芹 ☎090(1342)2151
せせらぎ俳句会 藤本 ☎0968(38)4087
旭志文芸教室俳句の会 中尾 ☎0968(37)2578
肥後狂句水笑会 山隈 ☎0968(38)2051
七城短歌会 佐々 ☎0968(24)3761
「里」短歌会 溪流短歌会 木原 ☎090(5284)2418
菊池短歌会 安藤 ☎0968(25)4285